

令和6年度 津山市立図書館協議会 会議録

日時：令和6年10月18日（金）

午後2時30分～4時

会場：津山市立図書館集会室

出席委員 尾島会長 横谷副会長 内田委員 福田委員 飯田委員 國米委員
井上委員 小谷委員
欠席委員 竹内委員 中塚委員 影山委員 志水委員 栗井委員
事務局 明楽部長 尾崎課長 菊入館長 大林副館長

1. 開会

2. 部長挨拶

芸術の秋、森の芸術祭には予想以上にたくさんの方が津山に来られていると感じている。図書館では今年3月に第5次の津山市子ども読書活動推進計画を策定し、この計画に基づいて子どもたちの読書環境の支援の充実を図っている。また7月から県下で初めて、津山圏域定住自立圏事業として、電子書籍の貸出サービスをスタートした。図書館は生涯学習の理念の元、市民の皆様のさまざまな学習活動に応える地域の情報拠点、学習拠点としての役割を果たすため、引き続き人づくり地域づくりを推進する。この協議会は貴重な機会である。皆様の忌憚のないご意見をいただきたい。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3. 委嘱状交付 （省略）

4. 自己紹介 （省略）

5. 議事

（1）視聴覚ライブラリー担当委員の選出について

影山委員、志水委員、小谷委員を選出

（2）令和5年度津山市立図書館及び視聴覚ライブラリーの利用状況

事務局 令和5年度は、341日の開館日数。開館日の増加と比例して入館者も増加した。登録者数、蔵書冊数、貸出冊数等ほぼ昨年と同じであり、資料費は昨年同様の予算額となっており計画的に購入している。

委員 視聴覚ライブラリーの16ミリフィルムは利用されているか。

事務局 利用されていない。

委員 フィルムは保存に場所をとる。郷土資料等保存の必要なフィルム以外で、DVD等の代替品があるフィルムの除籍を考えられないか。

事務局 郷土関係では保存用に16ミリからDVDに起こしたものもある。権利上のことがありたちまちには難しいが計画的に整備していかないとはいけないと考えている。

委員 現在16ミリフィルムを上映できる機材があるか。

事務局 ある。

委員 昔はPTAとか子供会の役員さんが技師の資格を取って上映していた。図書館のイベントでフィルム上映できないか。

事務局 フィルムの状態や機材を確認して上映については検討してみる。

(3) 令和6年度津山市立図書館主要事業について

事務局 令和6年度の課題

- ・図書館利用の活性化
- ・図書館サービスの連携と協働の拡大
- ・子ども読書活動推進計画の策定と調べる学習コンクールの実施
- ・地域課題の解決にむけた図書館サービスの充実
- ・津山圏域定住自立圏図書館事業の推進
- ・津山定住自立定住自立圏図書館電子書籍貸出サービスの導入

今年度の目玉事業は津山定住自立定住自立圏図書館電子書籍貸出サービスの導入で津山市、鏡野町、奈義町、久米南町、美咲町、勝央町に在住在勤在学で各市町の利用者カードを持っている方が利用することができる。貸出期間は2週間で貸出件数は3タイトルまで予約件数は3タイトルまでできる。(チラシ参照) 現在約3万2000タイトル。小中学生の利用がほぼ47%。実際に利用されてる方が600人以上。利用時間は、朝の8時ぐらいから、夜の11時ぐらいまで幅広い。津山市の利用が一番多く、その次に奈義町、美咲町、勝央町、鏡野町、久米南町、の順で利用されている。特に津山市の小中学生の利用は多い。学校で使っていただいているのではないと思う。津山中学校では、ID等入力しており、よく利用されている。

次に今年度が第5次津山市子ども読書活動推進計画の策定の初年度になっており、講演会の開催等、いろいろな子どもの読書活動を推進する取り組みを行う。

委員 デジタルライブラリー、私はまだ使ってないが、この中で使われている方おられますか。

委員 ない。(今のところ全員の委員が利用されていないとのこと)

委員 使われている方で最高齢の方はおいくつぐらいの方ですか。

事務局 94歳。窓口でも興味を持たれた80代の方に説明したこともある。年齢に関係なく幅広く興味を持っていただいている。ハイライト機能や読み上げ機能がついている。ちょっと普通の本だと読みにくいような方も聞いて読書することができる。オーディオブックという音声でしゃべってくれる本も一部ある。

委員 デジタルライブラリーの中にあるものは全部図書館の本としてあるか。

事務局 いいえ。本とは別物。デジタルライブラリーにしかないものもある。人気があるのは、児童書は学習漫画のシリーズ、一般書は旅行や健康関係の本等。

委員 予約はできるか。

事務局 できる。自動的に2週間で返却になるので返し忘れはない。

委員 誰かが借りている場合でも他の人が同時に借りることができるか。

事務局 児童書の読み放題パックという複数人借りることのできるものがある。この他青空文庫等クラス全員が同じ本を借りて見ることができるものや洋書もある。

委員　　もっと広報した方がいい。図書館に来られない方が一番利用したいと思うのでは。例えば一人で来られない子どもやお年寄り等。テレビ津山でPRするとか、老人会、町内会で説明会を開くなど広報は大事だと思う。

事務局　　広報はまだ足りていないと思う。

委員　　話題になったら良いのもっとPRすると良い。例えば94歳の方が使われていると聞いたが、その方の体験談等利用者の体験について紹介してみてもどうか。

事務局　　広報の方法をいろいろと工夫したい。

委員　　対面で話しながら説明をされるとわかりやすい。広報のアイデア等もでており、電子書籍の将来性自体が高いことがわかった。実践しようと思うとなかなか大変だと思うが、出かけていって対面で話しながら説明すると子供たちやお年寄りにわかりやすい。大変でしょうけど、ぜひ頑張ってください。

(4) 図書館の運営について

委員　　新刊は充実していると思う。自分はよく利用している。古い名作と言われるような本がぼろぼろのことがあり、その本を持っている場合があるのだが寄付できたらいい。いい循環があればいいと思うがそういう仕組みはあるか。

事務局　　寄贈を受け付けているが、郷土資料以外の本は出版から5年以内の本を受け付けている。名作といわれる本については計画的に買い換えをする方向で検討する。

委員　　久米地域にもブックキャラバンが来てもらえるか。

事務局　　公民館等からの依頼があれば対応できる。

委員　　他の地域の話で、人が集まるまちおこしや住みやすい町にするといった事にも図書館を利用されている記事を見た。津山市で、そういう方向で考えていただけたら良いのではと思っている。

事務局　　図書館や公民館も含めてというような広がりのある話だと思う。公民館についてもそのような話題が出ている。いろいろな実例があり、公共施設の位置付けとの関係もあり、そういったアイデアやお話を伺っているところ。

委員　　津山はすごく文化の高いまちで、図書館はちょうど立地条件の良いところにある。是非工夫されますようお願いいたします。

委員　　要望ですが、自習室を、もう少し良いようにしていただきたいと思う。ここはちょうど高校が周辺にあり、高校生にすごく便利な場所だと思う。高梁市の図書館、真庭市の図書館を知っているが、自習室が良い。自分もそうだったが図書館は高校生が本を読んだり勉強で使われていると思う。ちょっと休憩できるスペース、ゆっくりできるスペース、自習室を充実させて欲しい。個室ではなくても良いがパソコンを持ち込めたりできれば良いと思う。

委員　　高校生の自習室として使われるだけではなく一般の利用者が本を読むスペースも必要なので、アルネ全体で他に自習スペースを考えても良いのではと思う。

事務局　　例えばこの部屋が使われていないときの活用の一つとして自習室の様な使い方を考えてみても良いかも知れないが安全面に配慮してチェックできる体制を整えてからということになる。今あるスペースで工夫できることがあるか検討する。

委員　　久米の読書案内と勝北のレファレンスが突出して多い。何か理由があるか。

事務局 久米は一昨年も同程度多く、勝北は昨年度、特に増えたようだ。久米は歴史について聞かれることも多い。勝北は昨年度質問される利用者が増えたことと利用全体が増えておりその影響もあると思う。

委員 久米をよく利用している。子どもには質問があれば司書さんに聞きなさいと教えている。どの地区館も本館と同じく立地が良くて行きやすい。子どもと一緒に利用している。

(5) その他

会長 この間施設の再編について新聞で見たのを思い出したが、公共施設の再編の部分で10年前の基本計画を見ると図書館について見てみると、4は廃止といった4段階の評価の中で図書館本館が2地区館が3だった。

市としての考えはどうか。

事務局 今のところは廃止と考えていない。

委員 計画の中の文言を見ると、縮小移転統合という言葉が入っていてその辺はどうか。

事務局 利用者が下がってくるとそういうふうな可能性はある。

委員 図書館がなくなったら困る。岡山県の県立図書館等にある本も取り寄せできる。図書館の窓口で受け取れるからものすごく有り難い。やっぱり近くにあるのがいい。建物が耐用年数があって利用者もある程度利用してる場合は、なくなる可能性が低いということか。

事務局 そうです。

委員 図書館利用は読書だけじゃない。カフェがあるところもあり、みんなが集まって勉強したり幅広いものになりつつある。本がたくさんあるからすごいだというだけではなくて、もっといろんな使い道がなくてはならない。知のインフラという言葉が計画の中にも出てきている。そういう場所だということをもっとアピールして、利用を増やす事は大事だと感じる。

委員 本の受け渡しの場というだけではなく、図書館は人づくりや地域の拠点としての意識をもって、しっかり頑張ってもらいたい。

6. その他

委員 紙ベースからデジタル化が進んでいるが自分は本をこれからも紙で読みたい。書評等から読みたい本を選んで予約したら購入等してくれてありがたい。

事務局 電子書籍も、紙の本もどちらも充実を図る。施設については昨年度は美作材を用いた改修事業を行った。今後も皆様のご期待に添うよう努めていく。

7. 閉会

副会長 図書館は全国的な賞をもらわれたり、今年はデジタルライブラリーの取り組み等いろいろと努力されていると思う。これからも期待している。